

年 組 名 前 :

問1 被災者に無償で車を

貸し出している「日本

カーシェアリング協会」は、

何をきっかけに

設立されましたか。



「このプロジェクトが、災害時の車の必要性を考えるきっかけになれば」と話す立川佑菜さん
—甲府市中小河原町

被災者に車 無償貸し出し JAF 活動資金募る

9月1日は防災の日。災害時にも移動手段として欠かせない自動車だが、豪雨や河川の氾濫時には水没などによって使えなくなってしまう場合も。そんな時の助けとして、日本カーシェアリング協会（宮城県）は被災者に車両を無償で貸し出している。緊急時にスムーズに車両を貸し出せるよう、同協会の活動に協力している日本自動車連盟（JAF）は、貸し出し車両の運搬費や維持管理費などの資金をクラウドファンディング（CF）で募っている。



被災地での車両貸し出しの様子（JAF山梨支部提供）



クラウドファンディングのサイトはこちらのQRコードからもアクセスできる（JAF山梨支部提供）

協会は東日本大震災をきっかけに設立。使われなくなった車両など、寄付で集まった約240台を現在保有している。災害時には現地へ出向き、車を失った人に被害規模に応じた期間、無償で車両を貸し出している。昨年7月に静岡県熱海市で発生した大規模土石流の被災地など、これまでの貸し出し実績は1700件を超える。CFプロジェクトを立ち上げたJAFはこれまで、被災地で道路をふさぐ被災車両を取り除くなど、災害時の支援活動も続けてきた。CFの発案者の立川佑菜さんは現在JAF山梨支部に勤務。立川さんによると、車両の維持管理費や運搬など活動にかかる金額は年間1000万円を超えるといわれる。「近年増加する大雨災害により、JAFへの出動要請も増えている」と立川さん。車両がないと避難所と自宅の往復や通院、役所への手続きなどのための移動手段が断たれるという「災害時の車の必要性を自分事として考えてほしい」と訴える。CFの目標金額は300万円。9月8日まで募っている。寄付額に応じた、協会作成のグッズやお礼のメールなどの返礼がある。CFの申し込み先のアドレスは<https://readyfor.jp/projects/jaf-mobility-resilience>右のQRコードからもアクセスできる。

〈重友優希〉

問2 協会では、車を

どのように利用して

もらいたいと

考えていますか。

(2022年8月30日付 山梨日日新聞13面)

問3 次の文章の①から④に当てはまる数字を、答えてください。

『協会では、使われなくなった車両など、寄付で集まった約①台を保有している。

災害時には、現地へ出向き、車を失った人に被害規模に応じた期間、無償で車両を貸し出している。これまでの貸し出し実績は②件を超えている。

車両の維持管理費や運搬などにかかる金額は、年間で③万円を超えるといわれている。

クラウドファンディングでは、この活動資金を目標金額④万円で募っている』

①..... ②..... ③..... ④.....